公益財団法人 日本セーリング連盟
JAPAN SAILING FEDERATION

2020 外洋合同会議

外洋合同会議 （函館）

2020/2/1

オリエンテーション

Schedule

2月1日 (土曜日)

12:00 ～12:30 受付
12:30 ～12:40 開会・時間割等説明

【各委員会報告】
12:40 ～ 13:30 レースマネジメント委員会外洋小委員会
13:00 ～ 13:20 外洋計測委員会
13:20 ～ 13:45 外洋安全委員会
13:45 ～ 14:00 ルール委員会外洋規則小委員会

休憩（15分）

【パネルディスカッション】
14:15 ～ 16:15 パネルディスカッション

【閉会】
16:15 ～ 16:20 閉会・懇親会場紹介

レースマネジメント委員会
外洋小委員会　報告

2020年2月1日（土）：函館

報告内容

1) JSAFレース委員会の名称変更
2) レースオフィサーの名称変更
3) レースオフィサーの資格喪失
4) 公認審査の流れ
5) その他
   - ﾚｰｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾏﾆｭｱﾙ(RMM)
   - 全日本大会の日程調査状況

1．JSAFレース委員会の名称変更について

レース委員会は東京オリンピック 2020 を見据え、国内において多数の国際大会を開催するにあたり、現行の「レース委員会」名称を、**「レースマネジメント委員会」**に変更しました。

● 委員会名　（旧）レース委員会
（新）レースマネジメント委員会

＊名称変更の意図

JSAFレース委員会　⇨　ヨットレースの海上運営を行う委員会と誤解

セーリングイベント（海上・陸上）の運営に必要な内容を協議し、活動を行う委員会であることを意識させる

2．レースオフィサーの名称変更

ｸﾗﾌﾞ・ﾚｰｽ・ｵﾌｨｻｰCRO（Club Race Officer）の名称が、国際ﾚｰｽ等での Couse Race Officer（CRO）と略称が同様のため、混乱を招く懸念から、**「ﾛｰｶﾙ・ﾚｰｽ・ｵﾌｨｻｰ」 LRO （Local Race Officer）**に変更しました。

● ﾚｰｽ・ｵﾌｨｻｰ名　（旧）ｸﾗﾌﾞ・ﾚｰｽ・ｵﾌｨｻｰ【CRO】
（新）ﾛｰｶﾙ・ﾚｰｽ・ｵﾌｨｻｰ【LRO】

＜JSAFレースオフィサー＞

NRO(National Race Officer)
全日本選手権レベルの小型艇又は外洋艇レースで、海上運営だけでなく、大会マネジメントまで行える者

ARO(Area Race Officer)
地域限定の特定艇種、特定レベルのレースで、海上運営を責任持って処理でき、また大会のマネジメントに関し主催団体を補佐できる者

LRO(Local Race Officer)
クラブ等のレースで、海上・陸上運営の一定分野に精通し、ARO. NROの 補佐を責任持って務められる者

3. レースオフィサーの資格喪失

2021 年 RRS 改正のため、
ﾚｰｽｵﾌｨｻｰの更新時期が迫る。

前回更新年以降、会員資格喪失者(会費未納入)がいる。

2017,2018,2019 年会費未払い者に対する処置は、
2020年3 月のレースマネジメント委員会で協議/決定

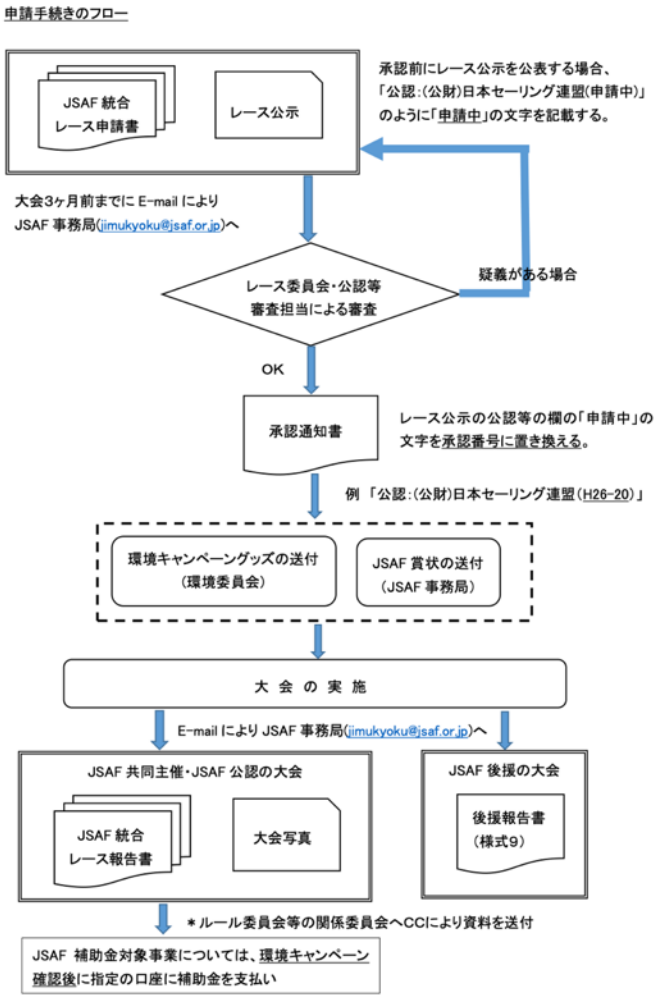
第８条　更新

1　更新のための要件

	クラブ･レース･オフィサー	エリア･レース･オフィサー	ナショナル・レース･オフィサー
レース運営経歴	過去４年間、レースの海上運営あるいは陸上のマネジメントに携わっていること。	過去４年間に４回以上レースの海上運営及び大会マネジメントに携わっていること。	過去４年間に１回以上、レース運営規則第１章第４条または第２章第４条にある大会、もしくは４年間に３回以上、上記大会に次ぐ水域レベルのレースの海上運営及び大会マネジメントに携わっていること。
会員資格	資格取得後継続して、連盟に登録されている会員であること。		
レース公示・帆走指示書の作成	—	現行の「セーリング競技規則」に基づきレース･オフィサーとして、責任を持って、担当する競技会のレース公示及び帆走指示書を作成できること。	
レース・マネジメント・クリニック			過去４年間に１回以上、レース・マネジメント・クリニックを受講していること。
推　薦	—	—	第４条１項に基づき、所属する連盟加盟団体及び連盟特別加盟団体等から推薦された者でなければならない。
講習会	更新のための講習会を受講しなければならない。		

＊更新条件として JSAF 会員であることは当然

4.　公認審査の流れ



連盟レース運営規則第2章（抜粋）
第３条（外洋艇全日本選手権大会等開催の条件）
全日本選手権大会等開催の条件は、次のとおりとする。
（１）第１条の大会「公認」願い、もしくは大会「共同主催」願いは、大会**開催日の３ヶ月前までに、申請書を連盟に提出**すること。

第８条（補足的事項）
その年度において大会開催を予定する主催団体は、大会の実施場所および日程については、前年度の１月末までに連盟に届け出ること。
２ 大会に関する**報告**は次の通りとし、**大会終了後１ヶ月以内**に、これを行うものとする。
ア、実施報告書
イ、プログラム・成績表
ウ、レース所感
エ、決算報告書
オ、補助金支払申請書（補助金交付がある場合のみ）
カ、プロテスト委員長のレガッタレポート
３ 主催団体は、競技参加艇に対して大会レース運営に関するアンケート調査を実施し、その調査書を連盟レース委員会に提出するものとする。

4.　公認審査の流れ

2019年度の外洋系レースの状況

レース名	種類	レース日程	申請日	3か月	実施報告書
ANIORU`S CUP 2019 全日本学生外洋ヨット選手権	公認	3月1日～3	1月9日	×	未提出
小笠原ヨットレース2019	公認	4月25日～5月6日	1月16日	○	未提出
葉山ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾌﾚﾝﾄﾞｼｯﾌﾟﾚｶﾞｯﾀ	後援	5月18日	2月23日	×	提出
全日本ミドルボート選手権	公認	6月14日～16	1月10日	○	提出
第11回ＳＵＢＡＲU-ＺＡ　ＣＵＰ	後援	7月14日	2月15日	○	提出
第60回パールレース	共催	7月25日～28	4月16日	○	中止（台風）
トランス相模ヨットレース	後援	8月2日～4	5月4日	×	未提出
第14回静岡県知事杯	後援	8月2日～4	5月4日	×	未提出
第39回J-24クラス全日本	公認	9月20日～23	7月5日	×	未提出
リビエラ逗子マリーナ「若大将」カップ	後援	10月13日	7月29日	×	提出　中止 （台風）
第39回ミニトン全日本選手権	共催	11月1日～4	7月16日	○	提出
第６回全日本Melges 20クラス選手権大会	公認	11月1日～4	8月14日	○	提出
2020日本パラオ親善レース	共催	12月28日～15	8月9日	○	

5. その他

World Sailing race Management Manual (ﾚｰｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾏﾆｭｱﾙ)について

WORLD SAILING RACE MANAGEMENT MANUAL JULY 2019

World Sailing Race Management Manual

LATEST DOCUMENT REVISION

FILE:	RaceManagementManualJuly2019-[25256].pdf
SIZE:	10,574.7KB
VERSION:	8.0
DOCUMENT TYPE:	Standard Document
EFFECTIVE DATE:	01/03/2019

REVISION HISTORY

REVISION NUM	FILE	SIZE	URL	DATE EFFECTIVE
version 8	RaceManagementManualJuly2019-[25256].pdf	10,574.7KB		01/03/2019
ver.2018	RMManual08August2018-[24186].pdf	7,924.3KB		01/08/2018
version 6	RMManual201325Apr-[18217].pdf	7,178.9KB		12/01/2015
ISAF Race Mangement Manual 2012	RMManual2012-[12283].pdf	5,694.0KB		01/03/2012
ammend 1	RMManual201325Apr-[18215].pdf	7,178.9KB		11/01/2015
ammend 2	RMManual201325Apr-[18216].pdf	7,178.9KB		12/01/2015

このマニュアルは、IRO(International Race Officer)を目指すために、知識と経験を集めるレースオフィサー用の学習ツールとして作成されています。また、既存のレースオフィサー用の参考資料として、全世界のレースマネジメントの一貫性に貢献することを目的としています。

WORLD SAILING RACE MANAGEMENT MANUAL JULY 2019
https://www.sailing.org/35374.php

レースマネジメント委員会で日本語訳の公開を検討中

5.　その他

全日本大会の日程調査について

連盟レース運営規則第2章（抜粋）

第８条（補足的事項）
その年度において大会開催を予定する主催団体は、大会の実施場所および日程については、前年度の１月末までに連盟に届け出ること。
２ 大会に関する報告は次の通りとし、大会終了後１ヶ月以内に、これを行うものとする。
ア、実施報告書
イ、プログラム・成績表
ウ、レース所感
エ、決算報告書
オ、補助金支払申請書（補助金交付がある場合のみ）
カ、プロテスト委員長のレガッタレポート
３ 主催団体は、競技参加艇に対して大会レース運営に関するアンケート調査を実施し、その調査書を連盟レース委員会に提出するものとする。

5.　その他

（抜粋）全日本大会の日程調査について

2020年度 全日本選手権等セーリング競技日程
（2020年4月1日～2021年3月31日）

期間	大会名称	会場	主催団体
4/28～5/8	沖縄-東海ヨットレース2020	沖縄県宜野湾沖 ⇒ 愛知県蒲郡市沖	JSAF外洋東海
7/23～7/26	第61回 パールレース	三重県南伊勢町沖 ⇒ 静岡県伊東市沖	JSAF外洋東海
7/17～7/19	2020全日本ミドルボート選手権	ラグナマリーナ蒲郡	日本ミドルボート協会
	J/24 全日本選手権大会		日本J/24クラス協会
	全日本Melges20クラス選手権大会		日本メルジェス協会
11/21～11/23	第40回ミニトン全日本大会	千葉県　浦安マリーナ	日本ミニトン協会

外洋計測委員会　報告

2020年2月1日（土）：函館

JAPAN SAILING FEDERATION

公益財団法人
日本セーリング連盟

JSAF 外洋計測

2020 外洋計測委員会　資料

外洋計測委員会

目的

外洋ヨットにおける国際レーティングシステムを国内で普及させ、より活発なレース活動を支援し、レース参加者に公平感を与えるレーテイング･ルールを提供すること。
又、 計測技術の継承及び 計測データの管理、維持を 目的とする。
（ユーザーへの正確な情報提供と質の高いレースの実現）

業務

・国内において艇の計測業務を行い、データを取りまとめこれらの証書管理を行う。これらの業務を遂行するため計測組織の管理。また国内における計測関係の規則等の全般的な管理をおこなう。

主な項目

・国際機関との間の良好な関係を維持し、それぞれの年次総会にメンバーの派遣する。
・ODC計測委員会と連携する。
・ルールおよび関連する規則等に注意を払い、改正された場合には直ちに入手し、必要あれば これを適宜翻訳して日本語版を発行して告知する。
・セミナーを開催し、メジャラーを養成し、管理する。必要な場合は クリニックの開催も行なう。
・レースマネジメント委員会と連携して、レース運営の為のガイド等を制作する。

現状報告

2020年度からは、活動及び会計を一つにして、一つの外洋計測委員会としての運用を行う事になりました。今後の課題等改善を測り 2021からの運用を目指す。

主な改善

- **料金制度の改訂（統一）**

課題

・ラニングコストの削減

＊証書発行事務に関して 窓口（受付）と出口（証書発行）とを統合する。

＊HPは 現時点で2つのHPを持っているが、計測委員会の HPを新たに統合した設計をして制作する。

・計測セミナーの開催

＊共通の計測員の養成等を行う。

現状の公式計測員の更新が2021年３月までを考慮して考える。

レースでの運用

現在は、「IRC」をメインとして「ORC」に対しては「デュアルスコアリング」で対応することが推奨されています。

＊国内のフリートの分散を防ぐ

（多くの艇種が存在する外洋レースに於いて、同じ様なレーティング値を持つ艇がクラス分けされる事が望ましい。）

運用ガイドの整備

＊風向、風速の安定しない国内レースにおいて、レースマネジメント委員会との連携し、レース運営スキル向上の為にも運用ガイドの整備が必要である。

2020年メジャラー更新セミナー

委員会では　2021年2月に、メジャラーの更新に伴うセミナーの開催を3か所予定しています。

詳細に関しての公示

- IRCホームページ、JSAFホームページ(ODC計測委員会)に　公示を掲示致します。(2020年8月で検討中)外洋計測ホームページに進捗状況で変わります。
- メジャラーには、直接メールでの案内も検討中です。

申込方法

- Web申込を採用致します。

証書申込みでの注意事項

申込書に基づき　JSAF会員登録、外洋艇登録の確認を行っています。
国内公式レーティング取得の為には、JSAF登録艇が条件となっています。

JSAF会員システムを運用での下記の様な問題点があります。

・登録艇種が現状所有の艇（IRC証書）と異なっている。

・セールナンバーが異なっている。

・JSAFへ登録料が未納となっている。

・艇登録が抹消のままで、艇登録証が発行されていない。

証書申込時には、各自の会員ページでの確認をお願い致します。

外洋艇登録が完了していない場合は、手続きが進みませんのでご了承ください。（未完了の艇には　メールでの連絡も致します。）

IRC証書　申込での注意

IRC委員会では　2019年より、各種申込みを　webサイトからの申込み
システムを採用に変更致しました。2020年も同様な申込みシステムを採用
しています。

　IRC委員会では、毎年10月に行われる　IRCコングレスにメンバーを派遣し
ています。　別紙参加報告書をご参照下さい。

昨年との違い
・更新の場合　Spinnaker pole, Bowsprit に関する質問が加わりました。
（スピンネーカーのタックを取る位置）
船体より前にある、アンカーローラー等からタックを取る場合は
　バウスプリットとしての申告になります。
2020証書の　表記変更に伴う　質問事項です。

IRC証書申請申込書　は下記からも行えます。

https://ws.formzu.net/dist/S22383850/

証書発行システムの変更

JSAF事務局では　2019年中旬より、IRC証書発行及び請求の発行システムを変更致しました。

主な改善

＊PDFの証書、請求者をZipファイルでの送付を　PDFにパスワードを付けての送付に変更しました。

・ZIPが開かないケースを解消する為

＊証書発行請求書の再請求に関して、請求書発行後　1か月を目途に、未入金艇には再請求を行う。

・JSAF事務局での入金管理をよりスムースにする為

JAPAN SAILING FEDERATION

公益財団法人
日本セーリング連盟

JSAF 外洋計測
IRC 委員会

2020 IRC ***委員会 資料***

報告事項

＊IRC委員会2020年度　事業計画　（川合委員長）

・ホームページの内容の充実

・2021年度メジャラーの更新に伴うセミナーの開催

・5トン重量計の新規購入

＊2019　IRC証書発行状況

・2020の申込受付に関して

・外洋艇登録の確認に関して

＊2019　IRCコングレスの報告　（角　RO）

・2020証書の主な改正点等

＊2020　IRC　レース主催の為のガイド

＊IRCレース公示で　変更、有効となる規則（抜粋）

ホームページ　https://jsafirc.com/

JAPAN SAILING FEDERATION　公益財団法人 日本セーリング連盟

ホーム　新着情報　IRC概要　申込手順　Q&A　ダウンロード　お問い合せ

JSAF 外洋計測委員会 IRC委員会

IRCはJSAFのメイン・レーティングである

証書取得に関して

メジャメントに関して

レース主催に関して

2020年メジャラー更新セミナー

IRC委員会では　2021年2月に、メジャラーの更新に伴うセミナーの開催を3か所予定しています。

詳細に関しての公示

- IRCホームページ、JSAFホームページ(ODC計測委員会)に　公示を掲示致します。(2020年8月で検討中)
- メジャラーには、直接メールでの案内も検討中です。

申込方法

- Web申込を採用致します。

IRC証書　Web 申込みシステム

IRC委員会では　2019年より、各種申込みを　webサイトからの申込み
システムを採用に変更致しました。2020年も同様な申込みシステムを採用
しています。

昨年との違い

・更新の場合　Spinnaker pole, Bowsprit に関する質問が加わりました。
（スピンネーカーのタックを取る位置）
船体より前にある、アンカーローラー等からタックを取る場合は
バウスプリットとしての申告になります。
2020証書の　表記変更に伴う　質問事項です。

IRC証書申請申込書　は下記からも行えます。

https://ws.formzu.net/dist/S22383850/

証書申込みでの注意事項

申込書に基づき　JSAF会員登録、外洋艇登録の確認を行っています。
国内公式レーティング取得の為には、JSAF登録艇が条件となっています。

JSAF会員システムを運用での下記の様な問題点があります。

・登録艇種が現状所有の艇（IRC証書）と異なっている。

・セールナンバーが異なっている。

・JSAFへ登録料が未納となっている。

・艇登録が抹消のままで、艇登録証が発行されていない。

IRC証書申込時には、各自の会員ページでの確認をお願い致します。

外洋艇登録が完了していない場合は、手続きが進みませんのでご了承ください。（未完了の艇には　メールでの連絡も致します。）

証書発行システムの変更

JSAF事務局では　2019年中旬より、IRC証書発行及び請求の発行システムを変更致しました。

主な改善

＊PDFの証書、請求者をZipファイルでの送付を　PSFにパスワードを付けての送付に変更しました。

・ZIPが開かないケースを解消する為

＊証書発行請求書の再請求に関して、請求書発行後　1か月を目途に、未入金艇には再請求を行う。

・JSAF事務局での入金管理をよりスムースにする為

IRCコングレスの報告

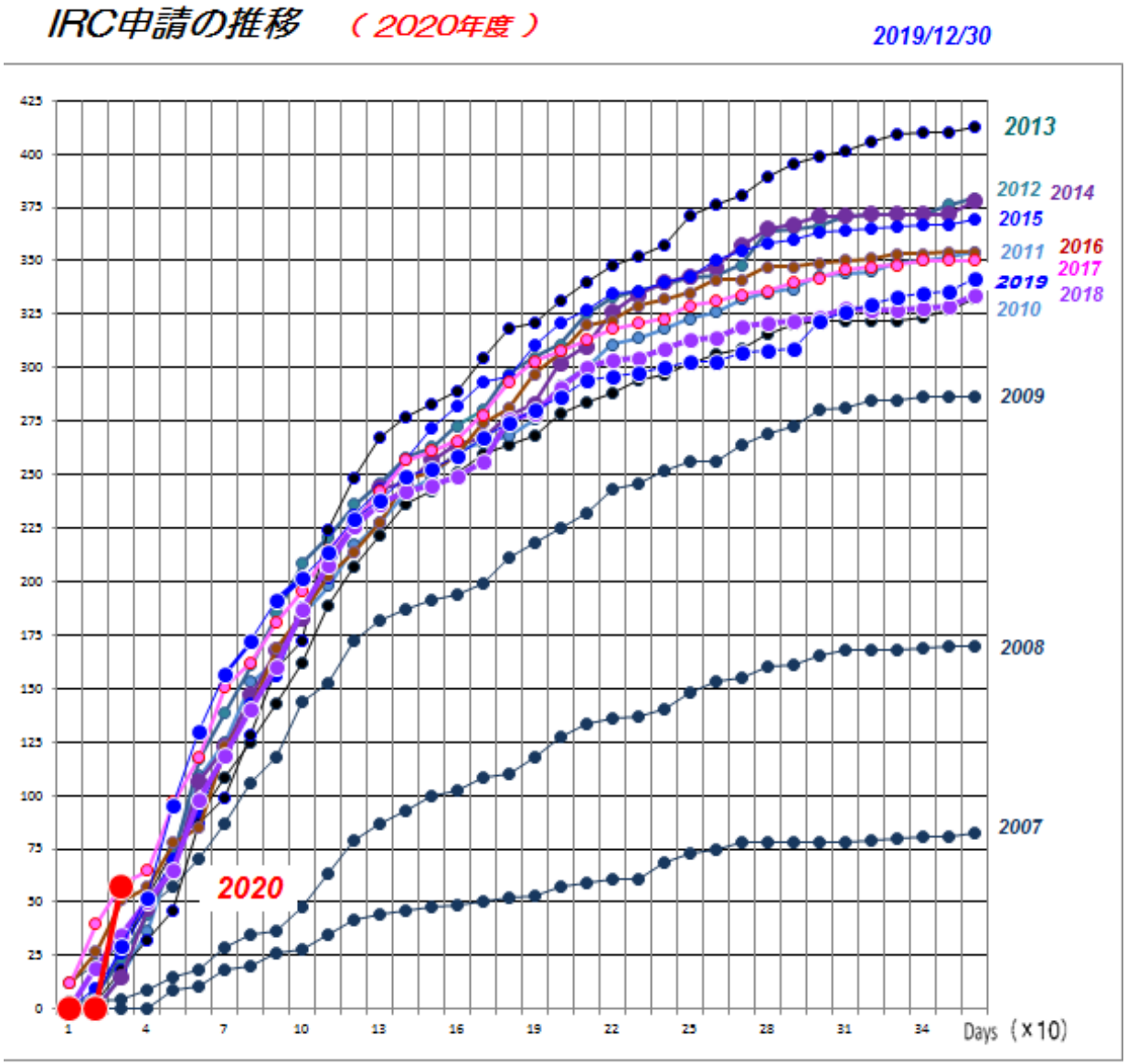
IRC委員会では、毎年10月に行われる IRCコングレスにメンバーを派遣しています。 別紙参加報告書に基づき、 レーティング・オフィイス角氏より概要の報告

・IRCテクニカルコミティーからの報告（今後の予定・現在進行形アイテム）

・2020年のルール変更に関して

・その他

IRC申請の推移（2019）



今後の資料提供に関して

合同委員会・IRC計測セミナーでの資料提供に関しての

変更案の骨子と変更理由

＊ホームページに資料の開示

＊参加者は、ホームページから資料取得をお願い致します。

＊紙ベース・USBの配布のコスト削減

＜JSAF　PHRF　運用指針＞　　20/Sep./'18

PHRF 小委員会　八木達郎

＜１＞ 艇長会議までにスクラッチシートを公示すること。

エントリーリストに艇種とレーティング数値をつけて降順に並べたものがスクラッチシートになる。一番右に空欄があれば、各艇が自艇のハンディキャップ係数を計算できる。（計算式はスクラッチシートの欄外に記入）

＜２＞ 初めての艇や改造を加えた艇にはレーティング申告書が必要。

レーティング申告書は参加申込書に含めることが出来る。なんのデータもない艇にレーティングをつけることは望ましくない。必要な場合は写真の提供を求めることもある（インターネットも重要な情報になる）。大きな改造（目で見てわかるもの）以外は、同型艇には同じレーティングで良い（これはＰＨＲＦの利点でもある。レーティングはポテンシャルのみにつける、人にはつけない）。これら＜１＞と＜２＞の作業は当該レース委員の担当者と共同で行う事がふさわしい。

＜３＞ スクラッチシートの見直し。

レースごとにそれぞれの艇の隣に並ぶ艇は変わってくる。また同じようなポテンシャルの艇が離れたところに並ぶことがある。この場合スクラッチシート上で数値の見直し（修正）をおこなうことが望ましい。（申告書の数値が参考になる）この見直しのためには、エントリーを艇長会議より前に締め切ることが必要になる。また数値を変更した場合は同時に元データも変更しておく。この作業のあと、10~20 艇ごとにレーティング順にクラス分け（グループわけ）することが望ましい。これによりただ単に参加することよりも、競い合う楽しみが生まれる。

＜４＞ レーティング数値の作成。

ワールドセイリング公認の有効なレーティング数値をそのまま使うことは禁止されている（訴訟の対象になる）。この場合たとえ定数を掛けたり（タイムオンタイム）、定数を減じたり（タイムオンディスタンス）しても結果は同じに出るので盗用と認められる。また過去のレーティング数値をそのまま使用することも良くない。この場合その定数で変換した数値にさらに経験則でパーセンテージ等でさらに変換すれば全く盗用とは認められなくなる。（この方法を推奨するわけではない）

＜５＞ レース結果の速やかな公表。

レース結果は速やかに、レーティング、所要秒、修正秒、を公表する事。これにより選手が検算できるので、間違いが指摘されることがある。　　以上

2020/1/29

JSAF パフォーマンスハンディキャップ　2019 実績

氏名	JSAF会員所属	レース＆艇数	レース＆艇数	レース＆艇数	レース＆艇数	レース＆艇数	レース&艇数	合計
八木　達郎	外洋駿河湾	三浦新春/18	初島D.H/88	SUBARUZA/90	相模湾Y. F/18	若大将CUP/92 (N/R)	パラオレース/7	313/6R
角　晴彦	神奈川県	B.S OPEN/86						86/1R
横山　英博	関西YC.	WHITE年間73/12R	SPRING OPEN/36/1R	SPRING WHITE/9/4R	AUTUMN WHITE/11/4	AUTUMN OPEN/21/1R		150/22R
三浦　信郎	外洋東海	三河湾/7	五ケ所湾/16	ERIKA CUP/70	D.C CUP/26			119/4R
上阪　和功	外洋内海	関空一周/69	舵杯/44	島精機CUP/37				150/3R
峯　邦宏	長崎県	軍艦島レース/9	帆船まつりレース/12	ハウステンボスOPEN ヨットレース/13	NSM CUP ヨットレース /16	ハウステンボスカップ ヨットレース 3クラス /44	小浜ー長崎ヨットレース/12	106/6R
田原　達也	外洋南九州	篤姫カップ/5	種子島カップ/6	ミシマ・カップ/22	マイまくらカップ/6			**39/4R**

外洋安全委員会　報告

2020年2月1日（土）：函館

外洋安全委員会からのお知らせ
＜JSAF 外洋合同委員会会議 2020/2/1＞

【目次】

1.通信
1-1.VHF 無線通信：海上特殊無線技士（無線免許）取得援助
2.外洋特別規定（Offshore Special Regulations）
2-1.改訂
2-2.翻訳
2-3.外洋特別規定解説講習会
3.安全航行に向けて
3-1.安全にセーリングを楽しむために
3-2.2019 の安全週間
3-3.事故報告の義務化
4.各団体へのお願い
4-1.外洋特別規定採用状況調査
4-2.加盟団体の外洋安全委員会担当者登録

別紙での説明があります。

ルール委員会
外洋規則小委員会　報告

2020年2月1日（土）：函館

1. RRS５５　ごみの処分関係

- スピンネーカを揚げるためゴムや毛糸等で縛り、スピンネーカ展帆と同時に、ゴムや毛糸が切れて、海に飛ぶとRRS55(ごみの処分)違反です。
- 公示・帆走指示書で55条を変更し違反にならない旨定めている場合もありますが、来年のRRS改定でその様な変更は出来なくなります。
- つまり、ゴムや毛糸等でスピンネーカーを縛って展帆する方法は全くとれなくなりますので、ご注意ください。

2. RRS付則RV「視界不良時における競技規則」

World Sailingが年明けにRRS付則RV「視界不良時における競技規則」を発表しました。既に英文はJSAF・HPにアップ、現在邦訳作業中で邦訳出来次第HPにアップします。

これまで夜間は、RRS第2章航路権規則に換えて海上衝突予防法を適用することが通常でした。

・海上衝突予防法2章

海上衝突予防法にはRRS第２章B節（一般制限）C節（マーク・障害物）の規定に相当する規定がありません。例えば灯標など小さいマーク等を夜間廻航する場合等RRS１８条の規定は残したいと思っても、現行ルールでは海上衝突予防法に切り替えたら法規通りの適用で、マークや障害物等のRRSの規定は残しておけない。

ケースブックのケース１０９：IRPCASまたは航路権に関する国内法規は、帆走指示書に記載されている時のみレース艇の間に適用され、その場合、(RRSの)第2章の全ての規則がそれらに代わる。

・RRS付則RV「視界不良時における競技規則」

避けている、ルーム、マークルーム　４０m

ゾーン　２００m（←3艇身）、

風下からのオーバーラップ　８０m（←2艇身）　など

日本の外洋レースで夜間、視界不良時に、海上衝突予防法と付則RVをどう使い分けるかルール委員会外洋規則小委員会で検討中です。

3. 外洋艇セーラー向けルール講習会

外洋艇セーラー向けに、ルール委員会「指導者・選手向けルール講習会・外洋セーラー向け」を、外洋関係の団体で開催できます。

参加者一人１千円の資料代で、ＪＳＡＦルール委員会負担で講師派遣いたします。

既に今年は函館(明日2月2日(日))・福岡(2月16日(日))２か所での開催が決まっています。

その他の地域でも開催希望があれば是非ご相談ください。

また、資料だけをお送りすることも可能です。

4. ルールブック　ＲＲＳ２０２１－２０２４

- ルールブック製本版一括購入（11月末に発送予定）

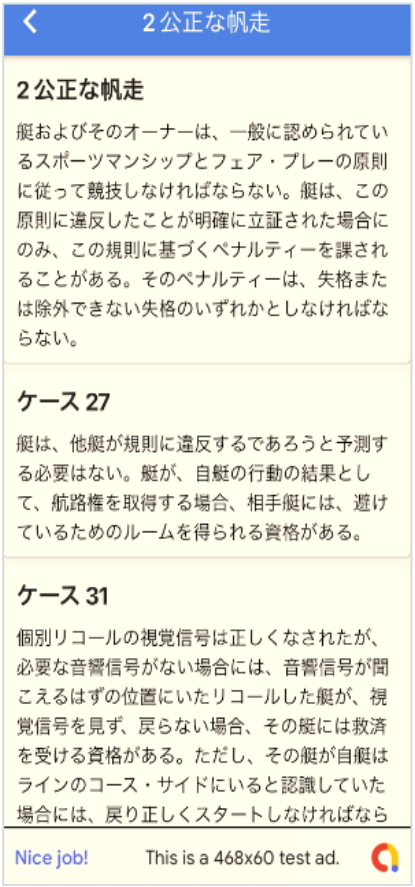
　会員の皆様に速やかに新ルールブックをお届けするために，今回も是非ご協力をお願いします。

　加盟団体・特別加盟団体による一括購入・予約方法の詳細は，追ってルール・ジャッジ関係代表者のメーリングリストを通じてご連絡します.

- スマホ・アプリ版の検討

対象端末：iOSおよびアンドロイドOSのスマートフォン

〈章ごとにボタン〉 〈章タップにて規則一覧〉 〈規則とケース表示例〉



〈用語検索例〉　〈レグ毎の適用規則〉〈利用者からのフィードバック〉

公益財団法人 日本セーリング連盟

JAPAN SAILING FEDERATION

レース主催に関する
パネルディスカッション

2020 外洋合同会議 （函館）

2020/2/1

＊大会計画

・大会の主催　基本の考え
・どの様な大会を計画するのか？
・大会組織
・どのようにマネジメントすればよいか、

レース主催について　趣旨説明

- ディンギーの大会は、
  ・オリンピック・国体を目指す
  ・クラス毎のワールド　ー　全日本　ー　水域大会
  ・インターハイ、インカレ、実業団

など大会の目的内容（コンセプト）が初めからはっきりしていることが多い

しかし、大型艇、外洋艇の大会はそのようなフォーマットが決まっていない
大会毎にゼロから作り上げる大会も多い

＊各外洋加盟団体がレースを開催しようとした場合に
・主催団体としてどのような責務があるのか、
・どのような観点でレースを主催し、
・どのようにマネジメントすればよいか

大会開催に当たってまず主催団体の行うべきこと

- その大会のコンセプト作成

  大会開催の哲学が必要

  何故、その大会を開くのか

  どんな大会

  何のための大会

  ↓

- 大会計画立案

  ↓

- 公示NoR作成

コンセプトがしっかり出来ていないと

- 大会が成立しない
- 艇が集まらない
- 準備途中で手戻り
- 公示の変更（しかもテクニカルでなく本質部分で）が頻発する
- 参加艇のニーズと主催者の思いにズレ
- 参加したけれど面白くない
- 何のため、誰のための大会かわからなくなる
- 地域や関係者、スポンサー等に説明できない

時代と共にあわなくなるコンセプト

- 大会を始めた時のコンセプトそのままでずっと続けられるか？
  - ・参加艇・参加者のニーズに合わなくなる
  - ・地域や関係者のニーズに合わなくなる　等々

⇒　コンセプト見直しのために

- ・大会後の反省・検証
- ・地域機関や関係者リサーチ

公示

- **コンセプト・大会計画をもとに文書の形にして広く公開する**
  ⇒レース公示NoR
- **参加艇・参加選手に対する最初のメッセージ**
  こんな大会を開催するので参加してみたら！！

参加に必要な必要充分条件が記載されなければならない。

艇・選手が自分が参加できるのか、参加するか判断できる。
参加を決めた艇・選手が大会参加の準備が出来る。

では、より良いクルーザーレース、外洋レースの主催にむけて、皆で議論しましょう

＊組織と責任

- **主催団体**
  - 1つまたは複数の団体が、主催団体を構成することができる
- **大会実行委員会**
  - 中心となる委員会
  - 良い委員長が必要である
  - 大会の指揮全体に関して責任がある

主催する上での重要事項

1．競技者の安全確保

※セーリングは自然相手のスポーツ　リスク管理に向けイマジネーションを持つ事が重要

2．競技者が公平に競技できるようにすること

※ 全ての選手が平等に勝てる機会のある、競技性の高いレースの提供が重要

※ 何よりも選手目線での判り易いレース運営が重要

3．大会が競技規則　およびその他の関係する規則に準じて運営されること。（公正なレース運営）

※ 良い運営を行うには、体系立てた知識が必要

4．全ての競技者が大会に規則に従えるようにすること。

※ はっきりしていて、あいまいでなく、分かり易い帆走指示書

5．可能な限り、すべての競技者に満足感を与えること。

※ 何よりも選手目線での判り易いレース運営が重要

＊4つの質問

大会を主催しようとする場合、いくつかの情報を必要とします。この情報は、大会が能力の範囲内であるかどうかについて、主催団体が決定を下す手助けとなるでしょう。

- 何の大会ですか？
- 大会はいつ開催されますか？
- 大会はどこで開催されますか？
- 大会はどのように組織されますか？

＊主要な大会情報

- 開催日数
- 競技者のターゲット
- 艇の大きさの範囲等
  クラス（IRC,ORC,J24,OPEN(PHRF)等）
- １日のレース数
- 参加艇数の見込み
- コース・エリアとコース形状
- インショアレース
- オフショアレース

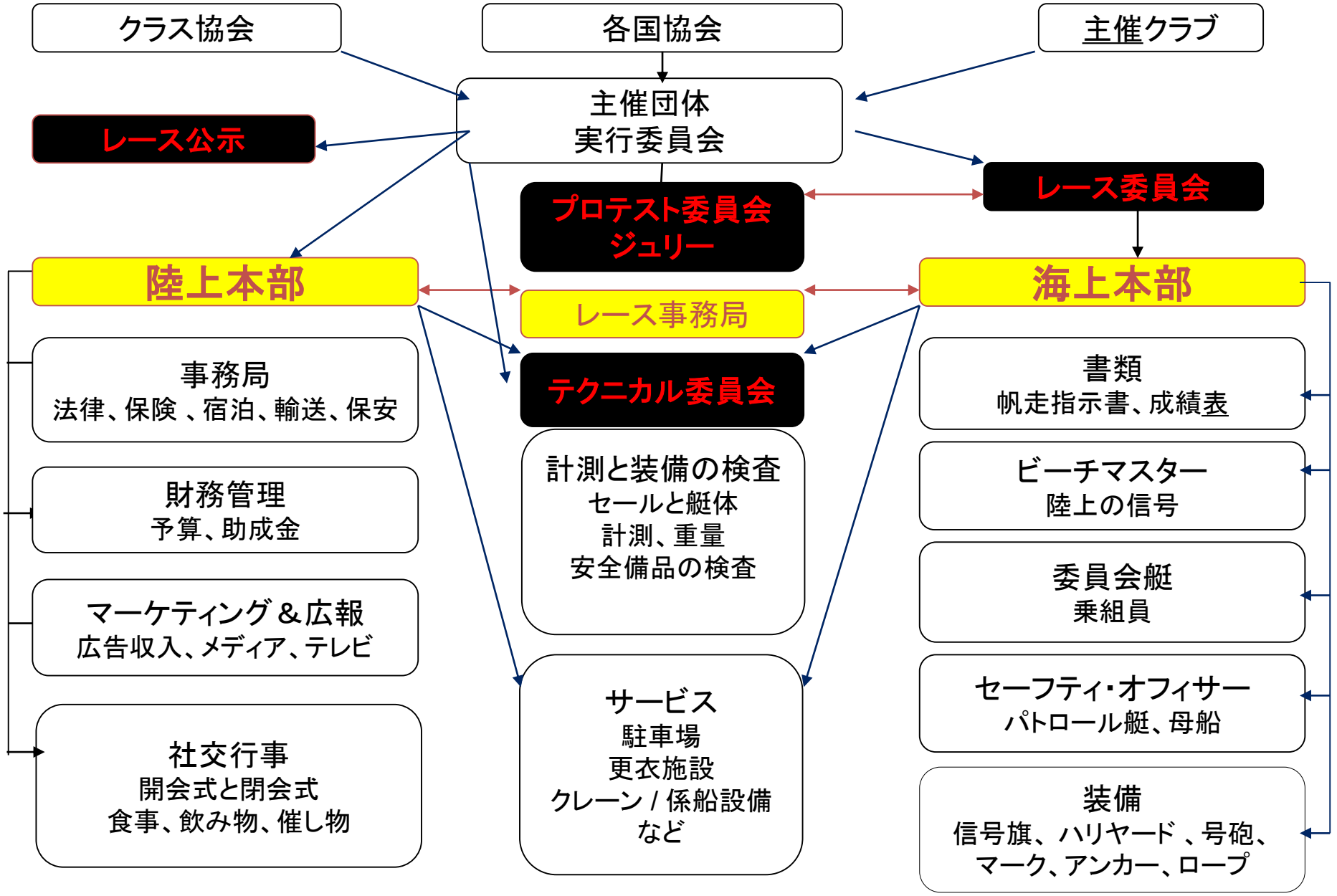
＊大会はどこで開催されますか？

- **マリーナまたはハーバーを本拠地に**
  - 商業船舶の航行
  - レジャー・ボートの航行
  - 進入禁止区域、航行水路
- **海底**
  - アンカーリングに適している
  - 水深　潮流の強さ
- **レース・エリア**
  - 高い岬がないこと
  - 安定した風

＊評　価

- 提案された大会の評価
  - 開催場所は、大会の規模に物理的に対応できますか？
  - 人員は、要求される熟練レベルを持っていますか？
- 危険度の評価
  - 開催場所は、安全に働ける環境の大会を提供できますか？

主要な大会組織のガイドライン



大会の組織

大会前の重要な仕事

「レース・マネジメント」とは、単に海上でのレースを運営するという事だけでなく、大会のあらゆる組織化に対して使う用語である。

大会はどのように組織されますか？

- 主催団体（実行委員会）を設立する　RRS 89.1　P51
- レース委員会を任命する　RRS 89.2　P51
- 適切な場合、プロテスト委員会を任命する　RRS 89.2 , 91
- 適切な場合、テクニカル委員会を任命する　RRS 89.2 ,92

レース本部と事務局を設置する
レース公示を準備する（RRSの付則を用いて）
危機管理マニュアルの作成

＊大会計画で必要な主な項目

- 財政 （財政的に実行可能か？）

  ・参加料、スポンサー、
  ・レース役員の費用(宿泊・交通費等)

- 安全

  ・外洋特別規定のカテゴリー
  ・インスペクションの手続き
  ・インシデントの対応計画（危機管理マニュアル等）
  ・リスクアセスメント

- 書類

  ・参加洋式エントリー・フォーム
  ・インスペクション・チェックリスト
  ・艇情報・クルーリスト
  ・成績表・マーク回航・フィニシュ等の記録用紙

外洋レースでの主な適用規則

外洋レースで使用される主なレーティング規則

内容の詳細は各ホームページを参照下さい。

- IRC規則/レースガイド等

  https://jsafirc.com/download/

- ORC規則/レースガイド等

  http://jsaforc.org

- 外洋特別規定（OSR)

  http://jsaf-anzen.jp/1-1.html

レース運営についての基本的な考え方

『安全』

『公正』

- ルール. マニュアル. ガイドに則った運営
  ① RRS：第3章. 第4章. 第7章. 付則A. J. K. L
  ② WS Race Management Manual
  ⇒ WS HPよりD/L可能
  ③ WS Race Management Policy
  ⇒ WS メジャーイベントで考慮が必要なガイド

※ 良い運営を行うには、体系立てた知識が必要